

114
A 3507



矢野文雄

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

現時国内ニ存在シテ流通スヘキ金銀カ紙幣ニ割合レテ甚々僅クナルニ
今日金銀ニ對スル紙幣ノ相場尚ホ甚シカラサル者ハ他ナシ金銀
ノ相場ハ全國金銀ノ盈虚ニ因ラスレテ唯日本ノ一部分ナル開港場ノ
盈虚ニ基因スレハナリ固範狭クナル開港場ナレハ僅々ノ金銀出現ス
ル毎トニ忽チ満盈ニテ相場下落スルニ易キカ故ニ今日迄未タ甚シキ金
銀ノ昂貴ニ至ラスレテ時々相場ノ下落ヲ得ルナリ然ルニ今開港場ノ
外内地ニ於テ金銀紙幣ノ對價ヲ立ルヲ得ハ金銀ノ相場ハ漸次ニ全
國一般ノ盈虚ニ基因スルニ至リ日ニ月ニ騰貴ヲ加ヘ之ヲ制止スルノ術
ナキニ至ラン而テ彼ノ秘ナル固範内ニ盈虚ヲ限ラシメ時々其満盈ニ
テ相場ヲ下ニ落セシムヘキ巧手段ハ到底依頼スヘカラサルニ至ルヘシ是ニ於テ
カ全國一般ノ盈虚ニ金銀ノ相場ヲ基セシムルト成行キ金銀ノ紙幣



ト莫ノ多少ノ割合ヲ現出シ遂ニ紙幣ハ其半價ヲモ保ツ能ハサルニ
至リ恐慌ノ有様ヲ社會ニ発出センコトヲ恐ルナリ實ニ今日紙幣カ
壹割五分前後ノ差ニテ其地位ヲ保ツノ大幸ハ狹隘ナリ固範内ノ盈
虚ニ全銀ノ相場ヲ限リ時トシテ盈滿下落ノ事アルヲ以テナリ固範内
ニ狹ナル横濱ニ全銀ヲ滿盈セシムルハ猶ホ望ムヘシ(明治九年ノ如キ是レ)
全國一般ノ盈滿ハ俄ニ之ヲ均セント欲スルモ豈容易ニ得ヘケンヤ是則チ
内地ニ全銀相場所ヲ建ル不利ナリ

外國貿易ノ不平均ヨリ年々六百萬圓内外ノ全銀輸出アルハ諸人ノ知ル
所ナリ然ラ則チ相場所ヲ許シ政府ヨリ時ニ全銀ヲ出スモ是レ猶
ホ無底ノ器ニ有限ノ水ヲ灑リカ如シ諸人皆全銀ノ漸次乏少シテ日ニ
月ニ全銀ノ依歸ヨリ昂貴スルヲ前知スヘシ然ラ則チ全銀ヲ貯蔵スル
ノ志當自ラ吾間ニ盛ニシテ政府ヨリ出ス所ノ者ハ瞬時ニ數ヲ尽テ再
ニ市場ヨリ隱退シ昂貴ノ勢必然多劇ヲ加フヘシ焉ソ恐慌ノ此恐

ヲ社會ニ現セサルヲ得ンヤ

現時正全銀ヲ要スルハ早ニ横濱ノ一地ナリ然ルニ猶ホ乏少不足ノ懼
ムヘキ有様ニテ數日前ノ貸借ハ千圓ニ百圓以テノ日部ヲ要スルニ至
ル是ノ如キハ常態ニアラサル者ト雖モ尚ホ其ノ不足セル一端ヲ知ルニ至レリ
然ルニ今復他ノ地ニ取引相場所ヲ設ケハ投機者結局ノ依頼トシテ又
此地ニ若干ノ全銀ヲ要スルハ明カナリ斯ノ如クニハ是レ投機者ノ需用ノ為
メ横濱ノ幾分ヲ折割シ去リ時トシテ横濱ニ乏上之ヲ加ヘレトシ是ホ
ハ細事ニ似タリト雖モ亦以テ憂セサルヘカラサルナリ
既ニ我々貿易銀ヲ以テ洋銀ニ代用スルノ發令等アルハ横濱ノ洋銀相
場所ノ細味ヲ変シテ全銀相場所ト為スリ可ナリ然レモ今日何等ノ家
急ナル事情有テ他ノ地ニ又相場所ヲ建設スルヲ要スルヤ他ヲ回顧シテ社
會ノ有様ヲ察スルハ東京等ニ之ヲ建設スルハ以上論スルカ如キノ至大ナル
危険アリ而テ之ヲ建設セサルモ亦大不利ナレトセハ願クハ其ノ建設ノ

期ヲ後クシテ更ニ時機ヲ待タンコトヲ

若シ関稅ノ改正果シテ好結果ヲ得貿易ノ權衡ヲ手奪スルノ日アラハ
金銀紙幣ノ對價ヲ立ルモ可ナリ何トナレハ世人皆紙幣ヲ追テ金銀ニ匹
對スルノ日アルヲ前知スルヲ以テ紙幣ノ威力年々ニ強勢ヲ加ヘテハナリ
是則全國一般ノ金銀ノ盈虚ニ相場ヲ基固セシムルノ時機ニシテ稍ヤ安
全ノ政策ト云フヘシ今日ノ如キハ我ニ金銀ヲ得ルノ道無シテ他ニ流出ノ
勢止マラス本邦内一部ノ盈虚ニ基スル價格ヲ変シテ全國一般ノ盈
虚ニ基固セシメントス是則チ危險ノ政策ニテ今日ニ迴避スヘキ者
ニアラスヤ